

蘇る至宝！

戦後を疾走した映画会社の全貌

60周年記念

新東宝大全集

60年60日60作品+α

主催：エスピーオー 国際放映
http://www.cinemart.co.jp/shintosh

1/31(土) 4/3(金) 開催

シネマト六本木 03(5413)7711
シネマト新宿 03(5369)2831

海女、女体、女王…、新東宝「モス」

海女の化物屋敷



◎国際放映

新東宝「海女」シリーズの第1弾。旧家の財宝を巡る争いにタイトル通り、幽霊が絡む新東宝らしいエロチックサスペンス。ヒロインは新東宝を代表する肉体派女優 三原葉子。菅原文太初主演作。

■1959 /モノクロ/シネスコ / 82分 ■監督：曲谷守平 / 脚本：杉本彰 / 赤司直 / 出演：菅原文太、三原葉子

女真珠王の復讐



◎国際放映

真珠王となった女性が悪人のために復讐を果たす…、新東宝らしいエロチックサスペンス。新東宝を代表する肉体派女優 前田通子 の初ヒロイン作。日本映画女優初のフルメードは必見。

■1956 /モノクロ/スタンダード / 89分 ■監督：志村敏夫 / 脚本：相良義、松木功 / 出演：前田通子、宇津井健、三ツ矢歌子 ※デジタル上映

女体渦巻島



◎国際放映

鬼才 石井輝男監督の「女体」シリーズ第2弾。麻薬の密輸、女の売買という欲望に満ち溢れた島を舞台に展開する無国籍サスペンスアクション。石井作品に欠かせない吉田輝雄の初主演作。

■1960 /カラー/シネスコ / 76分 ■監督：石井輝男 / 脚本：阿戸利秋 / 出演：吉田輝雄、三原葉子、万里晶代 ※デジタル上映

女王蜂の怒り

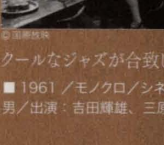


◎国際放映

新東宝の女任侠アクション「女王蜂」シリーズの第2弾。国際都市を舞台に久保菜穂子扮する女組長と新興組織の対立。そこに介入する宇津井健扮する謎の男の活躍を描く。菅原文太も注目。

■1958 /カラー/シネスコ / 75分 ■監督：石井輝男 / 脚本：内田弘三 / 出演：久保菜穂子、宇津井健、高島忠夫

セクシー地帯

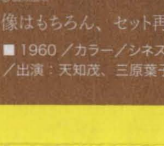


◎国際放映

大蔵体制の新東宝が生み出した鬼才 石井監督のヒット作「ライオン」シリーズ第4弾。ロケーションで撮りあげたスタイリッシュな映像と編集、バックに流れるクールなジャズが合致したメロドラマの傑作。

■1961 /モノクロ/シネスコ / 82分 ■監督：脚本：石井輝男 / 出演：吉田輝雄、三原葉子、三条雅也、池内淳子

黄線地帯



◎国際放映

神戸を舞台に国際青春組織に迫るサスペンスアクション。石井監督のヒット作「ライオン」シリーズ第3弾にして、唯一のカラー作品。スタイリッシュな映像はもちろん、セット再現したスバ街も大きな見所。

■1960 /カラー/シネスコ / 79分 ■監督：脚本：石井輝男 / 出演：天知良、三原葉子、吉田輝雄

Jホラーの元祖 中川信夫監督「怪談」傑作集

東海道四谷怪談



◎国際放映

「お岩さん」で知られる怪談スタンダードの映像版の決定打にしてJホラーの最高傑作。その恐怖感、演出の素晴らしさは時代を超えても色あせない。

箱屋南北の原作を存分に活かした映像化作品でもある。1959 /カラー/シネスコ / 76分 ■監督：中川信夫 / 脚本：大賀正義、石川義典 / 原作：箱屋南北 / 出演：天知良、杉本昌子

地獄



◎国際放映

Jホラーの元祖 中川信夫監督が3年の構想の下、死後の世界である「地獄」を描いたカルト作品。物語展開、特撮技術に駆使した大地獄絵図には驚愕すること間違いなし。後に2度リメイクされている。

■1960 /カラー/シネスコ / 100分 ■監督：脚本：中川信夫 / 脚本：宮川一郎 / 出演：天知良、沼田曜一、三ツ矢歌子

女吸血鬼

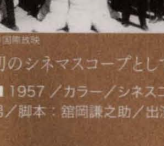


◎国際放映

20年ぶりに全く変わらぬ美貌で戻ってきた女性が語る奇妙な物語を発端に始まる日本初の本格吸血鬼映画。新東宝出身の天知良が処女の生血を吸い、月の光に弱い吸血鬼をスタイリッシュに演じている。

■1959 /モノクロ/シネスコ / 79分 ■監督：中川信夫 / 脚本：中沢信、特撮技術 / 原作：横井勇 / 出演：天知良、和田佳之助、池内淳子

明治天皇と日露大戦争

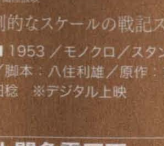


◎国際放映

5億4千万円という空前の配給収入を打ち立てた新東宝の代表作。嵐寛寿郎演じる明治天皇の決断と日露戦争の戦いを圧倒的なスケールで描く。日本初のシネマスコップとして制作された作品でもある。

■1957 /カラー/シネスコ / 114分 ■監督：原作：渡辺邦男 / 脚本：館岡謙之助 / 出演：嵐寛寿郎、藤田進、高田稔

戦艦大和

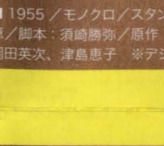


◎国際放映

吉田満による傑作戦記文学「戦艦大和」の映画化。空前絶後の製作費、エキストラを費やした迫力満点の戦闘シーン、史実に基づいた物語性など圧倒的なスケールの戦記スペクタクル。

■1953 /モノクロ/スタンダード / 101分 ■監督：阿部豊 / 脚本：八住利雄 / 原作：吉田満 / 出演：藤田進、舟橋元、高田稔 ※デジタル上映

人間魚雷回天

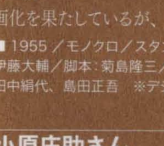


◎国際放映

後に戦争映画、喜劇など多くの秀作を手ける松林宗恵が、日本海軍の特攻兵器 人間魚雷回天乗組員である若者たちの苦闘を描いた戦争映画の傑作にして代表作。特撮シーンも大きな見所。

■1955 /モノクロ/スタンダード / 106分 ■監督：松林宗恵 / 脚本：須崎勝弥 / 原作：津村敏行、高橋義久 / 出演：木村功、岡田英次、津島恵子 ※デジタル上映

王将一代

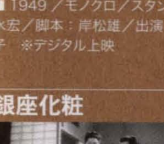


◎国際放映

破天荒な生き様、豪快な棋風で将棋界を席巻した棋士 坂田三吉の生涯を描いたヒューマンドラマ。伊藤大輔監督はこのテーマを愛し、自身で3度の映画化を果たしているが、これは2度目の作品に当たる。

■1955 /モノクロ/スタンダード / 116分 ■監督：脚本：伊藤大輔 / 脚本：菊島隆三 / 原作：北条秀司 / 出演：阪本昌子、田中絹代、高田正吾 ※デジタル上映

小原庄助さん



◎国際放映

民謡「会津磐梯山」に歌われる小原庄助さんをモチーフにしたドラマ。小原庄助さんと呼ばれる人々の良い面が主人公の主人公のために尽くしながら身をつぶしていく様をコミカルに愛情で込め描いている。

■1949 /モノクロ/スタンダード / 93分 ■監督：脚本：清水宏 / 脚本：岸松雄 / 出演：大河内伝次郎、尾形半蔵子、宮川玲子 ※デジタル上映

銀座化粧



◎国際放映

巨匠 成瀬巳喜男が、銀座で女給として生きる女たちの姿を哀感込めて描いた1作。主人公の情緒の捉え方など成瀬らしさに満ちている。タイトルにもある戦後の復興の最中の銀座の風景も見所。

■1951 /モノクロ/スタンダード / 87分 ■監督：成瀬巳喜男 / 脚本：岸松雄 / 原作：井上友一郎 / 出演：田中絹代、花井蘭子、堀雄二 ※デジタル上映

たそがれ酒場



◎国際放映

名匠 内田吐夢監督が、歌謡酒場「たそがれ酒場」で一夜を描いた物語。そこにやってくるお客、そこで働く人々のそれぞれの人生模様をグランドホテル形式で描いた演出も見事な一品。

■1955 /モノクロ/スタンダード / 94分 ■監督：内田吐夢 / 脚本：木下重久 / 原作：丹羽文雄 / 出演：森雅之、久我美子、手塚重吉 ※デジタル上映

慟哭



◎国際放映

名匠 佐分利信の監督第5作目にして主演作。妻を亡くした劇作家と劇団の研究史としてやってきた若い女性との愛を描く劇作家の苦悩と決断を描いている。映画監督 佐分利信の代表作の呼び声高い作品である。

■1952 /モノクロ/スタンダード / 115分 ■監督：佐分利信 / 脚本：宮保路 / 出演：佐分利信、木暮実千代、阿部寿子 ※デジタル上映

雪夫人絵図



◎国際放映

橋聖一の原作を溝口監督らしい色合い染めた逸品。

■1950 /モノクロ/スタンダード / 86分 ■監督：溝口健二 / 脚本：依田義賢、舟橋和郎 / 原作：舟橋聖一 / 出演：上原謙、木暮実千代、浜田百合子

叛乱



◎国際放映

日本の歴史を大きく動かしたクーデター「二・二六事件」。そこに至るまでの陸軍、青年将校たちの苦闘、葛藤から幕切れまでを描いたドラマ。原作は立野信之による直木賞受賞の同名小説。監督は名匠 佐分利信と名匠 阿部豊。

■1954 /モノクロ/スタンダード / 115分 ■監督：佐分利信 / 阿部豊 / 脚本：菊島隆三 / 原作：立野信之 / 出演：藤田進、堀川俊之、山形勲 ※デジタル上映

太平洋戦争 謎の戦艦陸奥



◎国際放映

謎の爆発により沈没した大日本帝国海軍の戦艦陸奥。この歴史的事実を背景に、爆発のために暗躍する国際諜略団とそれを阻止しようとする青年将校の攻防を描いたスペクタクルサスペンス。

■1960 /モノクロ/シネスコ / 90分 ■監督：小森白 / 脚本：東山浩三、七条実 / 出演：天知良、菅原文太、小畑明子 ※デジタル上映

忍術児雷也

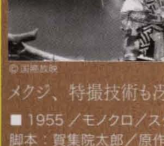


◎国際放映

少年少女を勇にしたヒーロー 忍者児雷也の決定版的映画化作品。オロチ、オオガマ、ナメジの戦い、特撮技術も冴える一大忍術スペクタクル。若山富三郎のデビュー作。共同監督は加藤泰。

■1955 /モノクロ/スタンダード / 81分 ■監督：加藤泰、萩原遼 / 脚本：賀集院太郎 / 原作：大塚次郎 / 出演：大谷友右衛門、田崎潤、若山富三郎 ※デジタル上映

逆襲大蛇丸

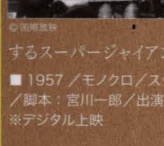


◎国際放映

少年少女を熱狂させた「忍術児雷也」の続編。戦国の世、オロチが児雷也に最後の戦いを挑むまでに描く。巨費を投じて作り上げたオロチ、オオガマ、ナメジ、特撮技術も冴える一大忍術スペクタクル。

■1955 /モノクロ/スタンダード / 71分 ■監督：加藤泰 / 脚本：賀集院太郎 / 原作：大塚次郎 / 出演：大谷友右衛門、田崎潤、若山富三郎

スーパージャイアンツ(1) 鋼鉄の巨人

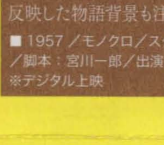


◎国際放映

日本映画初の特撮ヒーローもの「スーパージャイアンツ」シリーズの第2弾にして、第1弾の後編。宇津井健のコスチュームもだが、原水爆など当時の世相を反映した物語背景も注目。監督は鬼才 石井輝男。

■1957 /モノクロ/スタンダード / 52分 ■監督：石井輝男 / 脚本：宮川一郎 / 出演：宇津井健、中山昭二、池内淳子 ※デジタル上映

スーパージャイアンツ(2) 続 鋼鉄の巨人

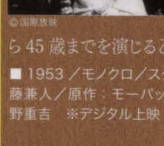


◎国際放映

日本映画初の特撮ヒーローもの「スーパージャイアンツ」シリーズの第2弾にして、第1弾の後編。宇津井健のコスチュームもだが、原水爆など当時の世相を反映した物語背景も注目。監督は鬼才 石井輝男。

■1957 /モノクロ/スタンダード / 52分 ■監督：石井輝男 / 脚本：宮川一郎 / 出演：宇津井健、中山昭二、池内淳子 ※デジタル上映

女の一生

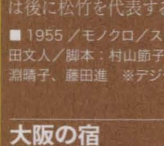


◎国際放映

96歳の現在も一線で活躍する新藤兼人監督がモータリッパの原作を翻案して描いたあるひとりの女の物語。夫の妻切から始まる女の不幸な人生、19歳から45歳までを演じる乙羽信子が見事な演出。

■1953 /モノクロ/スタンダード / 70分 ■監督：脚本：新藤兼人 / 原作：モータリッパ / 出演：乙羽信子、千田是也、手塚重吉 ※デジタル上映

ノンちゃん雲に乗る

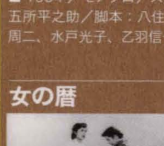


◎国際放映

木村から落ちたノンちゃんが体験する不思議な世界を描いた心温まるファンタジー。原作は石井桃子の同名ベストセラー童話。主人公ノンちゃんを演じたのは後に松竹を代表する女優となる野間晴子。

■1954 /モノクロ/スタンダード / 84分 ■監督：脚本：倉田文次 / 脚本：村山朗子 / 原作：石井桃子 / 出演：野間晴子、堀雄二、藤田進 ※デジタル上映

大阪の宿



◎国際放映

名匠 五所平之助監督が「煙突の見える場所」に続き、今度は大阪を舞台に東京から左遷された男と彼の下宿先の女中たちの物語。当時の商業都市である大阪の風景も見所。

■1954 /モノクロ/スタンダード / 122分 ■監督：脚本：五所平之助 / 脚本：八住利雄 / 原作：水上瀧太郎 / 出演：佐野周二、水戸光子、乙羽信子 ※デジタル上映

女の唇



◎国際放映

5人姉妹のそれぞれの人生、血のつながる姉妹としての情を、父の法事のために久々に集まった数日の中に描きこいた久松静児の演出が光る爽やかな後味のドラマ。舞台となる小豆島の映像も素晴らしい。

■1954 /モノクロ/スタンダード / 100分 ■監督：久松静児 / 脚本：井出俊郎、中野実 / 原作：森井実 / 出演：香川京子、田中絹代、杉本昌子 ※デジタル上映

細雪



◎国際放映

文豪 谷崎潤一郎の代表作の最初の映画化作品にして最高傑作の呼び声が高い1作。高峰秀子演じる四女を中心に、京都に暮らす4姉妹の物語を描いている。女優の存在感和阿部豊監督の演出が一体となった作品。

■1950 /モノクロ/シネスコ / 145分 ■監督：阿部豊 / 脚本：八住利雄 / 原作：谷崎潤一郎 / 出演：花井蘭子、高峰秀子、轟夕起子、山根寿子 ※デジタル上映

下郎の首

◎国際放映

多くの傑作時代劇を手がけてきた伊藤大輔監督が戦前の自作をリメイクした新東宝の時代劇を代表する作品。主人の代わりを仇を討った下郎の悲哀に満ちた行く先が現代劇以上に現代的に痛切だ。

■1955 /モノクロ/スタンダード / 98分 ■監督：脚本：伊藤大輔 / 出演：田崎潤、堀雄二、若山富三郎、片山明彦 ※デジタル上映

美空ひばり、江利チエミ、雪村いづみ…永遠の「三人娘」

ひばりの三役 競艶雪之丞変化(前)



◎国際放映

三上於菟吉が朝日新聞に連載。何度も映像化される、大衆演劇の定番となっている復讐劇雪之丞変化の映画化。タイトルにもある3役を演じる美空ひばり、劇中の歌舞伎シーンも見ものエンタテインメント。

■1957 /カラー/スタンダード / 91分 ■監督：脚本：渡辺邦男 / 脚本：中田龍雄 / 原作：三上於菟吉 / 出演：美空ひばり、宇治みさ子、阿部九州男

ひばりの三役 競艶雪之丞変化(後)



◎国際放映

雪之丞は舞台で役者演じながら、親の仇討ちの相手へと徐々に迫っていく。数多く残された美空ひばりの出演映画の中でもベストの呼び声が高い「ひばりの三役 競艶雪之丞変化」の後編。

■1957 /カラー/スタンダード / 89分 ■監督：脚本：渡辺邦男 / 脚本：中田龍雄 / 原作：三上於菟吉 / 出演：美空ひばり、宇治みさ子、阿部九州男

鬼姫競艶録

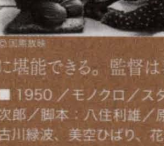


◎国際放映

将軍吉宗と尾張崇春の反目、その渦中を進む陰謀を美空ひばり演じる姫が食い止めるという娯楽時代劇。ひばりは絶代でなく若衆も演じ、歌い踊りまくる。名対決という設定も痛快。

■1956 /モノクロ/スタンダード / 85分 ■監督：渡辺邦男 / 脚本：関沢新一 / 原作：陣出達朗 / 出演：美空ひばり、小笠原龍雄、中山昭二 ※デジタル上映

憧れのハワイ航路

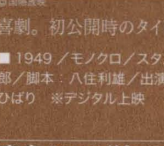


◎国際放映

同名大ヒット曲を持つ同僚夫が主演。美空ひばり共演、ハワイ時代に思いを募らせる男と彼が救った花売り娘と織り成す歌謡人情劇。ふたりの歌も存分に堪能できる。監督は喜劇で名を馳せる斎藤寅次郎。

■1950 /モノクロ/スタンダード / 78分 ■監督：斎藤寅次郎 / 脚本：八住利雄 / 原作：サトウハチロー / 出演：岡譲夫、古川緑波、美空ひばり、花菱アチャコ ※デジタル上映

ラッキー百万円娘

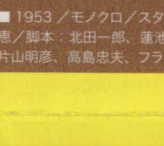


◎国際放映

天才少女と呼ばれていた美空ひばり最初期の作品。孤児で花売り娘のひばりがエンタツ、アチャコ、川田晴久ら演じる男たちとの間でやわやわと描く人情喜劇。初公開時のタイトルは「びっくり五人男」。

■1949 /モノクロ/スタンダード / 59分 ■監督：斎藤寅次郎 / 脚本：八住利雄 / 出演：花菱アチャコ、横山エンタツ、美空ひばり ※デジタル上映

青春ジャズ娘

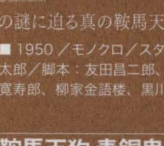


◎国際放映

ジャズに夢をかける仲間たちの青春音楽ドラマ。三人娘の江利チエミ、ナンシー梅木、ジョージ川口、ビッケフォア、東京キューバン・ボーイズなども登場する戦後ジャズブームの空気を伝える1作。

■1953 /モノクロ/スタンダード / 104分 ■監督：松林宗恵 / 脚本：北田一朗、池田龍雄 / 出演：新倉美子、江利チエミ、片山明彦、高島忠夫、フランキー堺 ※デジタル上映

鞍馬天狗 大江戸異変

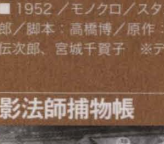


◎国際放映

40年以上の作品が作られた嵐寛寿郎主演の大ヒットヒーローもの「鞍馬天狗」シリーズの後期の作品。鞍馬天狗と称する夜盗が頻発する江戸を舞台にその謎に迫る真の鞍馬天狗の姿を描く痛快作。

■1950 /モノクロ/スタンダード / 103分 ■監督：並木鏡太郎 / 脚本：友田隆二、堀雄二 / 出演：大塚次郎 / 出演：嵐寛寿郎、柳家金語楼、黒川弥太郎 ※デジタル上映

鞍馬天狗 青銅鬼



◎国際放映

戦前から続く、嵐寛寿郎の当たり役「鞍馬天狗」シリーズの中の1作。物語は幕末の倒幕の動乱を背景に進む。大河内伝次郎扮する近衛勇と嵐寛寿郎扮する鞍馬天狗という2大スターの対決は必見。

■1952 /モノクロ/スタンダード / 72分 ■監督：並木鏡太郎 / 脚本：高橋博 / 原作：大塚次郎 / 出演：嵐寛寿郎、大河内伝次郎、宮城千賀子 ※デジタル上映

影法師捕物帳



◎国際放映

1927年に「鞍馬天狗」で銀幕デビューを果たした嵐寛寿郎の300本武士記念映画。正義の武士 影法師が庶民を食う巨悪に必殺の剣をふるうというアツカンならではの痛快映画時代劇。監督は中川信夫。

■1959 /カラー/シネスコ / 85分 ■監督：中川信夫 / 脚本：石川義典、森雅之 / 原作：寿々喜多良子 / 出演：嵐寛寿郎、中村龍之介、明智

ひかげの花の女優たち―大蔵新東宝のこと 川本三郎(評論家)

前田通子、三原葉子、宇治みさ子、久保菜穂子、三ツ矢歌子、万里昌代、小島絹子、星輝美……。いまでも昭和三十年代の新東宝の女優たちを思い浮かべると心ときめく。

当時、十代だった映画好きには、彼女たちは忘れられない女優である。新東宝といえど何よりもまず前田通子であり、三原葉子であり……監督や男優より女優だった。

といっても率直なところマイナーな女優である。司業子や八千草薫、久我美子や若尾文子、あるいは浅丘ルリ子や吉永小百合など陽の当たるところにいるスターに比べると、新東宝の女優はあくまでもひかげの花だった。

若尾文子や吉永小百合のことは人前で堂々と好きといえるが、前田通子や三原葉子が好きとはいえなかった。むしろ隠さなければならなかった。

新東宝の女優は多くの場合、裸を見せたから。いまのような女性のヌードが公認されている時代ではない。スクリーンのなかで女優が裸体をさらすことなど、アメリカ映画においてさえ珍しかった時代である。

そんななか、前田通子は、昭和三十一年（1956）、『女真珠王の復讐』で、日本の女優としてはじめて全裸を見せた（もちろん乳首は隠されていたが）。翌三十二年には『海女の戦慄』の、うしろ向きとはいえ全裸姿のポスターは大評判になった。

ちょうど当時、フランス映画『悪者は地獄へ行け』（55年）のマリナ・ヴラディの水着姿、『素直な悪女』（56年）のブリジット・バルドーのセミヌードが話題になり、新東宝は日本でも裸を見せる映画を考えたのだろう。新東宝は大手の映画会社ではなかったからタブーも気にしなかった。

『女真珠王の復讐』『海女の戦慄』のあと、新東宝は次々に、女優が肌をさらす映画を作っていた。当時の大江健三郎の小説『セヴンティーン』には「新東宝」というあだ名の高校生が出てくる。他の会社の映画は見えないで新東宝ばかり見る。ときには「エログロ三本立週刊」を場末まで追いかけるためにそう呼ばれている。

この少年は、しかし、かなり勇気がある。当時の中学生・高校生で実際に映画館で『海女の戦慄』や、三原葉子の『肉体女優殺し 五人の犯罪者』などを見るのにはかなり勇気がいった。そんなところを人に見られたら恥ずかしかった。

今回上映される新東宝の作品には、小津安二郎の『宗方姉妹』、溝口健二の『西鶴一代女』、成瀬巳喜男の『おかあさん』といった映画史に残る名作がある。

そういう映画と、見に行くことがはばかれる『海女の戦慄』や『女体渦巻島』がどう結びつくのか。これには新東宝という会社の歴史を振り返らなければならない。

新東宝は、戦後の映画界を揺がした東宝争議のさなか、争議に嫌気をさした映画人によってつくられた。昭和二十二年（1947）。当初は東宝の子会社といった趣きで、前記の名作の他にも、大ヒットした市川崑の『三百六十五夜』をはじめ、高峰秀子の『銀座カンカン娘』、五所平之助の『煙突の見える場所』、

田中絹代が監督した『恋文』、石井桃子原作の『ノンちゃん雲に乗る』など名作、話題作を作った。

しかし、徐々に業績が悪化していった。主な原因は、後発の映画会社として自前の映画館が少なかったこと。いい映画を作っても興行成績はよくなかった。

その結果、昭和三十年（1955）、多数の映画館を持つ興行主の大蔵貢が、豊富な資金をもとに、新東宝をいわば買取ることになった。これで新東宝はがらりと変わった。

大蔵貢は貧しい家を出で小学校も満足に出ていなかったが、無声映画の弁士として立ち、その後、興行者として成功した立志伝の人物。社長に就任すると、それまでの文芸映画を切り捨て、大衆娯楽路線に切り換えた。映画史家の田中純一郎の言葉を借りれば「ラムネとおせんべいを食べながら、小汚い座席で気楽に見たがるお客に標準」をおいた。大江健三郎の『セヴンティーン』にある「エログロ」映画、いわば昔の見世物小屋に掛かる催しものに似た映画である。

この路線はそれなりに成功した。大友柳太郎、宇治みさ子主演の時代劇『隠密七生記』や佐分利信主演の『軍神山本元師と連合艦隊』、お盆の「お化け大会」などがヒット。さらに大手映画会社ならまず考えもなかったアナクロ戦争絵巻『明治天皇と日露大戦争』は大ヒットした（実際、鞍馬天狗の嵐寛寿郎を明治天皇に起用するなど大蔵貢以外、誰が考えただろう）。

新東宝という会社は、だから二つあったと考えたほうが分かりやすい。大蔵貢以前と以後。以後は、『宗方姉妹』や『おかあさん』を作った映画会社とは全く違うものになってしまった。『キネマ旬報』のベストテンに入るような作品はまずない。そもそも大蔵貢は名作を作る気がない。

とはいえ、当時の十代の映画好きにとっては、新東宝といえど、批評家には見放されていたあとの大蔵新東宝なのである。それほどに大蔵新東宝は、当時の映画会社のなかで異彩を放っていた。

今日では、大蔵新東宝時代にも、中川信夫監督の『東海道四谷怪談』や、土居通芳監督、ジェリー・藤尾主演の『地平線がざらざらっ』等の秀作があったことが認められているし、新東宝出身の監督として石井輝男の評価も高い（成瀬巳喜男の『おかあさん』の助監督は石井輝男）。

新東宝出身で昭和三十六年（1961）に会社が解散したあと、他の映画会社やテレビで活躍した俳優も、菅原文太や宇津井健、天知茂、丹波哲郎、三ツ矢歌子、大空真弓、など数多い。池内淳子も新東宝出身。

以前、三原葉子と前田通子に、最近では池内淳子にインタビューしたことがある。皆さん苦労されただけに実にいい方たちだった。セーラー服が似合った星輝美やテレビのメロドラマで人妻役として活躍した小島絹子にも会ってみたい。私にとっては、新東宝とは大蔵新東宝であり、ひかげの花の女優たちこそが忘れられない。

真夜中の新東宝 ～オールナイトの5夜～

新東宝映画の魅力をとことんまで堪能するオールナイト特集上映“真夜中の新東宝”。鬼才 石井輝男監督の代表作『地帯』シリーズ、宇津井健主演のSF 特撮ヒーローもの〈スーパージャイアンツ〉シリーズの一挙上映をはじめ、J ホラーの元祖 中川信夫監督、新東宝エロチック路線、そして巨匠たちの世界というバラエティーに富んだ新東宝の世界を味わえること間違いなし。今回はこのオールナイトでしか上映しない作品もあり。豪華ゲストも登場予定。

開催日時：2/6(金)、2/20(金)、3/6(金)、4/3(金) シネマート新宿、3/20(金)のみシネマート六本木
各日 22:00 スタート(予定) 2,000円均一 ※詳細は劇場にお問い合わせ下さい。

第1夜 J ホラーの父 中川信夫 恐怖怪談の夜 2月6日(金) シネマート新宿 日本ホラー映画父ともいうべき中川信夫監督が新東宝に残した傑作ホラー 5作を一挙上映！

●怪談かさねが瀧 (1957 /モノクロ/スタンダード / 66分) 監督：中川信夫 / 脚本：川内康範 / 出演：若杉嘉津子、和田孝、北沢典子 ※デジタル上映 **オールナイトのみ上映**

●亡霊怪猫屋敷 (1958 /カラー/シネスコ / 69分) 監督：中川信夫 / 脚本：石川義寛、宮川一郎 / 原作：橋外南 / 出演：細川俊夫、江島由利子、五月藤江 **オールナイトのみ上映**

●女吸血鬼 (1959 /モノクロ/シネスコ / 88分) 監督：中川信夫 / 脚本：中沢信、仲津勝義 / 原作：天知茂、和田桂之助、池内淳子

●東海道四谷怪談 (1959 /カラー/シネスコ / 76分) 監督：中川信夫 / 脚本：大貫正義、石川義寛 / 原作：鶴屋南北 / 出演：天知茂、若杉嘉津子

●地獄 (1960 /カラー/シネスコ / 100分) 監督・脚本：中川信夫 / 脚本：宮川一郎 / 出演：天知茂、沼田曜一、三ツ矢歌子

第2夜 闇を突っ走れ！石井輝男 地帯シリーズの夜 2月20日(金) シネマート新宿 鬼才 石井輝男監督が新東宝に残した傑作シリーズ“地帯シリーズ”全5作を一挙上映！

●白線秘密地帯 (1958 /モノクロ/スタンダード / 56分) 監督：石井輝男 / 脚本：内田弘三 / 出演：宇津井健、中村彰、鳥羽陽之助 ※デジタル上映 **オールナイトのみ上映**

●黒線地帯 (1960 /モノクロ/シネスコ / 80分) 監督・脚本：石井輝男 / 脚本：宮川一郎 / 出演：天知茂、細川俊夫、三原葉子 **オールナイトのみ上映**

●火線地帯 (1961 /モノクロ/シネスコ / 79分) 監督・脚本：武部弘道 / 脚本：石井輝男 / 出演：吉田輝雄、天知茂、三原葉子 ※デジタル上映 **オールナイトのみ上映**

●黄線地帯 (1960 /カラー/シネスコ / 79分) 監督・脚本：石井輝男 / 出演：天知茂、三原葉子、吉田輝雄

●セクシー地帯 (1961 /モノクロ/シネスコ / 82分) 監督・脚本：石井輝男 / 出演：吉田輝雄、三原葉子、三条魔子、池内淳子
※「白線秘密地帯」はオリジナルフィルムの損傷のため約15分間が消失しています。ご了承下さい。

第3夜 海女、女王、女体…、新東宝の華 女人饗宴の夜 3月6日(金) シネマート新宿 大蔵＝新東宝の華 女人が揺れるエロチック路線の傑作 5作を一挙上映！

●海女の戦慄 (1957 /モノクロ/スタンダード / 73分) 監督：志村敏夫 / 脚本：内田弘三、坂倉英一 / 出演：前田通子、天城竜太郎、三ツ矢歌子 ※デジタル上映 **オールナイトのみ上映**

●女奴隷船 (1960 /カラー/シネスコ / 83分) 監督：小野田嘉幹 / 脚本：田辺虎男 / 菅原文太、三ツ矢歌子、三原葉子 **オールナイトのみ上映**

●海女の化物屋敷 (1959 /モノクロ/シネスコ / 82分) 監督：曲谷守平 / 脚本：杉本彰、赤田直 / 原作：舟崎淳 / 出演：菅原文太、三原葉子

●女王蜂の怒り (1958 /カラー/シネスコ / 75分) 監督：石井輝男 / 脚本：内田弘三 / 出演：久保菜穂子、宇津井健、高島忠夫

●女体渦巻島 (1960 /カラー/シネスコ / 76分) 監督・脚本：石井輝男 / 脚本：岡戸利秋 / 出演：吉田輝雄、三原葉子、万里昌代 ※デジタル上映

第4夜 宇宙平和の使者登場！スーパージャイアンツの夜 3月20日(金) シネマート六本木 宇津井健主演、日本初のSF特撮ヒーロー映画“スーパージャイアンツ”全9作品を一挙上映！

●鋼鉄の巨人 (1957 /モノクロ/スタンダード / 49分) 監督：石井輝男 / 脚本：宮川一郎 / 出演：宇津井健、中山昭二、池内淳子 ※デジタル上映

●続・鋼鉄の巨人 (1957 /モノクロ/スタンダード / 52分) 監督：石井輝男 / 脚本：宮川一郎 / 出演：宇津井健、中山昭二、池内淳子 ※デジタル上映

●怪人島の魔城 (1957 /モノクロ/スタンダード / 49分) 監督：石井輝男 / 脚本：宮川一郎 / 出演：宇津井健 ※デジタル上映 **オールナイトのみ上映**

●地球滅亡寸前 (1957 /モノクロ/スタンダード / 40分) 監督：石井輝男 / 脚本：宮川一郎 / 出演：宇津井健 ※デジタル上映 **オールナイトのみ上映**

●人工衛星と人類の破滅 (1957 /モノクロ/スタンダード / 40分) 監督：石井輝男 / 脚本：宮川一郎 / 出演：宇津井健 ※デジタル上映 **オールナイトのみ上映**

●宇宙艇と人工衛星の激突 (1958 /モノクロ/スタンダード / 39分) 監督：石井輝男 / 脚本：宮川一郎 / 出演：宇津井健 ※デジタル上映 **オールナイトのみ上映**

●宇宙怪人出現 (1958 /モノクロ/スタンダード / 44分) 監督・脚本：三輪彰 / 脚本：宮川一郎 / 出演：宇津井健 ※デジタル上映 **オールナイトのみ上映**

●悪魔の化身 (1959 /モノクロ/シネスコ / 57分) 監督：赤坂長義 / 脚本：宮川一郎 / 出演：宇津井健 ※デジタル上映 **オールナイトのみ上映**

●毒蛾王国 (1959 /モノクロ/シネスコ / 55分) 監督：赤坂長義 / 脚本：宮川一郎 / 出演：宇津井健 ※デジタル上映 **オールナイトのみ上映**

第5夜 溝口、小津、成瀬、黒澤…、新東宝 巨匠たちの夜 4月3日(金) シネマート新宿 巨匠たちが新東宝に残した多くの作品から映画史に輝く4作を一挙上映！

●西鶴一代女 (1952 /モノクロ/スタンダード / 137分) 監督：溝口健二 / 脚本：依田義賢 / 原作：井原西鶴 / 出演：田中絹代、清水将夫、三船敏郎

●宗方姉妹 (1950 /モノクロ/スタンダード / 112分) 監督・脚本：小津安二郎 / 脚本：野田高梧 / 原作：大佛次郎 / 出演：田中絹代、高峰秀子、山村聡

●おかあさん (1952 /モノクロ/スタンダード / 98分) 監督：成瀬巳喜男 / 脚本：水木洋子 / 出演：田中絹代、三島雅夫、香川京子

●暁の脱走 (1950 /モノクロ/スタンダード / 116分) 監督・脚本：谷口千吉 / 脚本：黒澤明 / 原作：田村孝次郎 / 出演：池辺良、山口淑子、小沢栄

●白線秘密地帯 ●スーパージャイアンツ悪魔の化身 ●怪談かさねが瀧 ●海女の戦慄 ●宗方姉妹

新東宝 14年の足跡

東宝争議の最中、映画を作りたいという俳優、監督、スタッフたちの熱い気持ちから誕生した新東宝。その初期は名匠・巨匠たちによる日本映画史に残る傑作を、後期は大蔵貢体制による“エログロ”路線と呼ばれるカルト作品を数多く残した。14年間の間に世に送り出した映画は 900 作品以上。新東宝は映画全盛時代において大きな役割を果たした。

1946年 (昭和21)

11月 東宝争議の最中、大河内伝次郎、原節子、長谷川一夫、高峰秀子など東宝を離脱したスターたち 10 名により結成された「十人の旗の会」はストに反対し、映画製作再開を表明。この動きが新東宝の母体となる。

◆この年の日本映画——GHQ による映画検閲が開始。日本初の接吻映画と宣伝された『或る夜の接吻』、初の接吻映画となった『はたちの青春』公開。東宝第 1 期ニューフェイス公募、三船敏郎、久我美子らが合格。

1947年 (昭和22)

3月20日 新東宝映画製作所として設立。

◆この年の新東宝公開作品——市川崑監督『東宝千一夜』(新東宝の第 1 作・監督デビュー作)、千葉泰樹監督『幸福への招待』(キネ旬第 10 位)

◆この年の日本映画——戦意高揚映画にかかわったとして川喜多長政らが映画界を追放される(1950 年に解除)、『安城家の舞踏会』(吉村公三郎監督) 公開。

1948年 (昭和23)

4月25日 新たに株式会社 新東宝 創立。

◆この年の新東宝公開作品——阿部豊監督『天の夕顔』、千葉泰樹監督『生きている画像』(キネ旬第 9 位)、市川崑監督『三百六十五夜』、佐伯清監督『富士山頂』

◆この年の日本映画——日本映画監督協会が再建『酔いどれ天使』(黒澤明監督)、『肉体の門』(マキノ雅弘監督) 公開。

1949年 (昭和24)

東宝との提携話が破裂し、完全独立。

◆この年の新東宝公開作品——黒澤明監督『野良犬』(キネ旬第 3 位)、島耕二監督『銀座カンカン娘』、稲垣浩監督『忘れられた子等』(キネ旬第 5 位)、清水宏監督『小原庄助さん』(キネ旬第 10 位)

◆この年の日本映画——GHQ の要請により現在の映倫(映倫管理委員会)に繋がる映画倫理規程管理委員会が発足。東映の全身となる東京映画配給株式会社が設立、『青い山脈』(今井正監督) 公開。

1950年 (昭和25)

1月16日 新東宝配給株式会社を創立。東宝との和解が成立。5月15日 新東宝興行株式会社を創立。ヒット作を生み出すも大作主義ゆえの製作費高騰により運転資金の枯渇が深刻化。

◆この年の新東宝公開作品——阿部豊監督『細雪』(キネ旬第 9 位)、小津安二郎監督『宗方姉妹』(キネ旬第 7 位)、溝口健二監督『雪女』人絵図』、谷口千吉監督『暁の脱走』(キネ旬第 3 位)

◆この年の日本映画——映画界を追放されていた川喜多長政らの処分が解除される。外国映画の輸入が自由化される。『羅生門』(黒澤明、ガラス越しのキスシーン)が話題となった『また逢う日まで』(今井正監督) 公開。

1951年 (昭和26)

経営非常事態による再建案が発表。新人養成所が開所。新東宝ニューフェイス“スターレーン”第 1 期生高島忠夫、天知茂、久保菜穂子、三原葉子、宇治みさ子等が入所。

◆この年の新東宝公開作品——成瀬巳喜男監督『銀座化粧』、市川崑監督『ブンガワンソロ』、並木鏡太郎『平手造酒』

◆この年の日本映画——後の東映動画に繋がる日動映画が設立。ヴェネチア国際映画祭で『羅生門』がグランプリを受賞。日本初の総天然色映画『カルメン故郷へ帰る』(木下恵介監督) 公開。

1952年 (昭和27)

溝口健二監督『西鶴一代女』がヴェネチア国際映画祭で国際賞を受賞。運転資金の逼迫、経営陣体制の混乱が続く。

◆この年の新東宝公開作品——溝口健二監督『西鶴一代女』(キネ旬第 9 位)、成瀬巳喜男監督『おかあさん』(キネ旬第 7 位)、佐分利信監督『懺哭』(キネ旬第 10 位)

◆この年の日本映画——製作本数の増加により、スターの引き抜き戦が過熱化。独立プロダクションが多数誕生、『生きている』(黒澤明監督)、『真空地帯』(山本薩夫監督)、『三等重役』(春原政久監督) 公開。

1953年 (昭和28)

海外ロケ第 1 号作品となる『ハワイの夜』(マキノ雅弘・松林宗恵監督) 公開。営業利益が好転、積極的に機材の新調、スタジオの増設などをおこなっていく。

◆この年の新東宝公開作品——阿部豊監督『戦艦大和』、五所平之助監督『煙突の見える場所』(ベルリン国際映画祭国際平和賞受賞、キネ旬第 4 位)、田中絹代監督『恋文』、新藤兼人監督『女の一生』

◆この年の日本映画——スター引き抜きを防ぐという名目で悪名高き五社協定が発効。『煙突の見える場所』がベルリン国際映画祭、『雨月物語』(溝口健二監督) がヴェネチア国際映画祭で受賞。『君の名は』(今井正監督) 公開で“真知子巻き”が流行に。『東京物語』(小津安二郎監督) 公開。

1954年 (昭和29)

新東宝最初のカラー作品『ハワイ珍道中』公開。製作費の出資が続き、回収が追いつかない状況が徐々に限界まで迫る。

◆この年の新東宝公開作品——阿部豊・佐分利信監督『叛乱』、久松静児監督『女の唇』、斎藤寅次郎監督『ハワイ珍道中』、五所平之助監督『大阪の宿』(キネ旬第 10 位)

◆この年の日本映画——日活が活動を再開。市川雷蔵、勝新太郎が映画デビュー。カンサ国際映画祭での『地獄門』(衣笠貞之助監督) のグランプリをはじめ、ヴェネチア国際映画祭で『七人の侍』(黒澤明監督)、『山椒大夫』(溝口健二監督) など国際映画祭での受賞が相次ぐ。『ゴジラ』(本多猪四郎監督)『二十四の瞳』(木下恵介監督) 公開。

1955年 (昭和30)

安・早く、大衆受けする映画を撮れる渡辺邦男監督を製作本部長に迎える。12月29日 大蔵貢 代表取締役就任。

◆この年の新東宝公開作品——内田吐夢監督『たそがれ酒場』、松林宗恵監督『人間魚雷回天』、伊藤大輔監督『下部の首』、倉田文人監督『ノンちゃん雲に乗る』、清水宏監督『いひのみ学園』

◆この年の日本映画——映倫が 18 禁の成人向け映画の指定を開始。高倉健がデビュー。各社 2 本立て興行による重産競争が始まる。『浮雲』(成瀬巳喜男監督)、三人娘総登場の『ジャンケン娘』(杉江敏男監督) 公開。

1956年 (昭和31)

大蔵貢体制による低予算の“安く、早く、面白く”“エログロ”路線がスタート。

◆この年の新東宝公開作品——志村敏夫監督『女真珠王の復讐』、渡辺邦男監督『鬼姫競艶録』、毛利正樹監督『四谷怪談』

◆この年の日本映画——石原裕次郎のデビュー作『太陽の季節』(古川卓巳監督)、初主演作『狂った果実』(中平康監督) 公開。

1957年 (昭和32)

4月『明治天皇と日露大戦争』公開。配収 5 億 4 千万円という史上空前のヒットを記録。

◆この年の新東宝公開作品——渡辺邦男監督『明治天皇と日露大戦争』、中川信夫監督『怪談かさねが瀧』、石井輝男監督『スーパージャイアンツ 鋼鉄の巨人』

◆この年の日本映画——日本初のシネマスコープ作品となった『鳳城の花嫁』(松田定次監督) 公開。以後、各社の作品が独自のシネスコで製作されるようになる。『喜びも悲しみも幾歳月』(木下恵介監督)『嵐を呼ぶ男』(井上梅次監督) 公開。

1958年 (昭和33)

2月 株式会社新東宝を新東宝株式会社と商号変更をする。コスト削減のため、新人俳優、新人監督の積極的な活用が続く。黒字経営が続く。

◆この年の新東宝公開作品——石井輝男監督『女王蜂の怒り』、田口哲監督『女王蜂』、中川信夫監督『憲兵と幽霊』

◆この年の日本映画——映画館への入場者数が 11 億 2700 万人と絶頂を迎える『駅前』シリーズ始まる。ヴェネチア国際映画祭で『無法松の一生』(稲垣浩監督) がグランプリを獲得。石原裕次郎の人気も絶頂に(興行ベスト 10 に『陽の当る坂道』など 4 作が入る)。

1959年 (昭和34)

第 2 撮影所を処分し、第 1 撮影所に製作を一元化。シネスコ用の新スタジオも完成。

◆この年の新東宝公開作品——中川信夫監督『東海道四谷怪談』、『影法師捕物帳』、曲谷守平監督『海女の化物屋敷』

◆この年の日本映画——映画館への入場者数が前年を下回り、斜陽化が始まる。黒澤プロダクション発足。赤木圭一郎が『拳銃 0 号』(山崎徳次郎監督)、大島渚監督『愛と希望の街』でデビュー。『私は貝になりたい』(橋本忍監督)『人間の条件』(小林正樹監督) 公開。

1960年 (昭和35)

4月10日 撮影所の第 1、第 2 ステージなどが火事で焼ける。12月1日 大蔵貢 退陣。

◆この年の新東宝公開作品——中川信夫監督『地獄』、石井輝男監督『黄線地帯』、小森白監督『太平洋戦争謎の戦艦龍島』

◆この年の日本映画——戦後最高の映画館数(7663 館) 日本映画最高の製作本数(574 本)となるも映画入場者数の減少は止まらず。モスクワ国際映画祭で『裸の島』(新藤兼人監督) がグランプリを受賞。小林旭主演『渡り鳥』シリーズ始まる。『おとうと』(市川崑監督)、『霧笛が俺を呼んでいる』(山崎徳次郎監督) 公開。

1961年 (昭和36)

8月末 新東宝としての活動に終止符を打つ。

◆この年の新東宝公開作品——石井輝男監督『セクシー地帯』、土居通芳監督『地平線がざらざらっ』 曲谷守平監督『北上川悲歌』(新東宝最後の作品)

◆この年の日本映画——赤木圭一郎事故死、加山雄三主演の若大賞シリーズ、勝新太郎、田宮二郎コンビの悪名』シリーズ始まる。日本初の 70mm 映画『釈迦』(三隅研次監督)『用心棒』(黒澤明監督)『モスラ』(本多猪四郎監督) 公開。

1964年 (昭和39)

商号を国際放映株式会社と変更し現在に至る。

■シネマート六本木 上映スケジュール (11:30 / 14:00 / 16:30 / 19:00 の 4 回上映)

	1/31 (土)	2/1 (日)	2/2 (月)	2/3 (火)	2/4 (水)	2/5 (木)	2/6 (金)	2/7 (土)	2/8 (日)
11:30	明治天皇と日露大戦争	明治天皇と日露大戦争	人間魚雷回天	人間魚雷回天	三百六十五夜	三百六十五夜	たそがれ酒場	たそがれ酒場	雪女絵図
14:00	戦艦大和	戦艦大和	謎の戦艦 陸奥	謎の戦艦 陸奥	ブンガワンソロ	ブンガワンソロ	忘れられた子等	忘れられた子等	小原庄助さん
16:30	叛乱	叛乱	懺哭	懺哭	生きている画像	生きている画像	三百六十五夜	大阪の宿	三百六十五夜
19:00	恋文	恋文	女の唇	女の唇	女の一生	女の一生	逆襲大蛇丸	煙突の見える場所	ブンガワンソロ
2/9 (月)		2/10 (火)	2/11 (水)	2/12 (木)	2/13 (金)	2/14 (土)	2/15 (日)	2/16 (月)	2/17 (火)
11:30	雪女絵図	女の一生	恋文	恋文	銀座化粧	銀座化粧	忍術児雷也	海女の化物屋敷	海女の化物屋敷
14:00	小原庄助さん	細雪	銀座化粧	銀座化粧	女の唇	女の唇	逆襲大蛇丸	女王蜂の怒り	女王蜂の怒り
16:30	ブンガワンソロ	生きている画像	煙突の見える場所	細雪	王将一代	銀座カンカン娘	海女の化物屋敷	女体渦巻島	女体渦巻島
19:00	懺哭	懺哭	殺人容疑者	忍術児雷也	煙突の見える場所	スーパージャイアンツ(1)(2)	女真珠王の復讐	セクシー地帯	セクシー地帯

	2/18 (火)	2/19 (水)	2/20 (金)	2/21 (土)	2/22 (日)	2/23 (月)	2/24 (火)	2/25 (水)	2/26 (木)
11:30	王将一代	東海道四谷怪談	殺人容疑者	影法師捕物帳	女王蜂の怒り	大阪の宿	王将一代	海女の化物屋敷	スーパージャイアンツ(1)(2)
14:00	忍術児雷也	地獄	地獄	東海道四谷怪談	女体渦巻島	海女の化物屋敷	海女の化物屋敷	女真珠王の復讐	セクシー地帯
16:30	逆襲大蛇丸	女吸血鬼	女吸血鬼	地獄	黄線地帯	女真珠王の復讐	女真珠王の復讐	黄線地帯	女体渦巻島
19:00	黄線地帯	黄線地帯	東海道四谷怪談	女吸血鬼	セクシー地帯	女王蜂の怒り	女王蜂の怒り	女体渦巻島	娘十六ジャズ祭り
2/27 (金)		2/28 (土)	3/1 (日)	3/2 (月)	3/3 (火)	3/4 (水)	3/5 (木)	3/6 (金)	3/7 (土)
11:30	スーパージャイアンツ(1)(2)	ノンちゃん雲に乗る	ノンちゃん雲に乗る	アジャパー天国	アジャパー天国	ノンちゃん雲に乗る	下町の首	憧れのハワイ航路	
14:00	黄線地帯	スーパージャイアンツ(1)(2)	細雪	ハワイ珍道中	ハワイ珍道中	鞍馬天狗 大江戸異変	下部の首	たそがれ酒場	たそがれ酒場
16:30	セクシー地帯	忍術児雷也	大阪の宿	のんき裁判	エノケンの豪傑一代男	鞍馬天狗 青銅鬼	鞍馬天狗 大江戸異変	三百六十五夜	ひばりの三役 (後)
19:00	青春ジャズ娘	逆襲大蛇丸	忘れられた子等	忘れられた子等	小原庄助さん	小原庄助さん	たそがれ酒場	雪女絵図	鬼姫競艶録

	3/8 (日)	3/9 (月)	3/10 (火)	3/11 (水)	3/12 (木)	3/13 (金)	3/14 (土)	3/15 (日)	3/16 (月)
11:30	憧れのハワイ航路	ラッキー百万円娘	ラッキー百万円娘	ひばりの三役 (前)	ひばりの三役 (前)	ひばりの三役 (前)	ハワイの夜	銀座カンカン娘	上海帰りのリル
14:00	ひばりの三役 (前)	青春ジャズ娘	青春ジャズ娘	ひばりの三役 (後)	ひばりの三役 (後)	ひばりの三役 (後)	憧れのハワイ航路	娘十六ジャズ祭り	ハワイの夜
16:30	ひばりの三役 (後)	娘十六ジャズ祭り	娘十六ジャズ祭り	鬼姫競艶録	上海帰りのリル	ハワイの夜	ハワイ珍道中	鬼姫競艶録	ハワイ珍道中
19:00	鬼姫競艶録	東海道四谷怪談	東海道四谷怪談	地獄	地獄	女吸血鬼	女吸血鬼	青春ジャズ娘	明治天皇と日露大戦争
3/17 (火)		3/18 (水)	3/19 (木)	3/20 (金)	3/21 (土)	3/22 (日)	3/23 (月)	3/24 (火)	3/25 (水)
11:30	上海帰りのリル	ハワイの夜	銀座カンカン娘	銀座カンカン娘	上海帰りのリル	鞍馬天狗 大江戸異変	鞍馬天狗 大江戸異変	下部の首	エノケンの豪傑一代男
14:00	ハワイの夜	銀座カンカン娘	青春ジャズ娘	青春ジャズ娘	銀座カンカン娘	鞍馬天狗 青銅鬼	鞍馬天狗 青銅鬼	鞍馬天狗 大江戸異変	のんき裁判
16:30	憧れのハワイ航路	殺人容疑者	一寸法師	地平線がざらざらっ	青春ジャズ娘	影法師捕物帳	影法師捕物帳	鞍馬天狗 青銅鬼	アジャパー天国
19:00	戦艦大和	叛乱	人間魚雷回天	謎の戦艦 陸奥	下部の首	下部の首	殺人容疑者	殺人容疑者	一寸法師

	3/26 (火)	3/27 (金)	3/28 (土)	3/29 (日)	3/30 (月)	3/31 (火)	4/1 (水)	4/2 (木)	4/3 (金)
11:30	エノケンの豪傑一代男	アジャパー天国	明治天皇と日露大戦争	ノンちゃん雲に乗る	戦艦大和	戦艦大和	煙突の見える場所	女の一生	女の唇
14:00	のんき裁判	ハワイ珍道中	謎の戦艦 陸奥	謎の戦艦 陸奥	叛乱	叛乱	大阪の宿	忘れられた子等	恋文
16:30	地平線がざらざらっ	ラッキー百万円娘	人間魚雷回天	人間魚雷回天	のんき裁判	明治天皇と日露大戦争	細雪	生きている画像	たそがれ酒場
19:00	一寸法師	地平線がざらざらっ	地平線がざらざらっ	一寸法師	エノケンの豪傑一代男	王将一代	雪女絵図	雪女絵図	銀座化粧

■シネマート新宿 上映スケジュール (10:15 / 19:30 の 2 回上映)

	2/7 (土) ~ 2/13 (金)	2/21 (土) ~ 2/27 (金)	2/28 (土) ~ 3/6 (金)	3/7 (
--	--------------------	---------------------	--------------------	-------